

医療介護連携 ICT ツールについて

1 事業概要

市では、ICT ツール*を活用した医療・介護関係者間連携を支援している。

本人の同意を得た上で、安全なインターネット環境で、高齢者等の基本情報のほか、リアルタイムで治療や支援内容や文書の共有が行われている。これにより、日常の療養支援から入退院、急変時、看取りの場面において、効率的かつ適切なケアが提供できるようになる。

2 活用状況

令和7年3月末現在、ツールを活用している事業所は、医療機関、薬局、介護サービス（障害を含む）など300以上。登録利用者数は、高齢者を中心に約2,700人となっている。

3 消防（救急隊）との連携がスタート

今般、八戸圏域事務組合消防本部の救急隊がこの取り組みに加わり、救急要請時に ICT ツールを通じて、高齢者等の既往歴・現病歴、かかりつけ医などの情報を確認できるようになった。

これにより、急変時に高齢者本人および家族の意思が尊重された迅速な対応が可能となる。

救急隊の現場滞在時間が短縮されることで救急医療体制の維持が図られるほか、呼び出しや照会といった支援者のシャドーワーク軽減にもつながることが期待されている。

■連携のイメージ



4 ICT ツールを利用するには

ICT ツールの利用には、NPO 法人 Reconnect への利用申請が必要。Reconnect では、事業所訪問による導入支援や操作方法の説明を行っている。

問い合わせは、NPO 法人 Reconnect connect8 事務局（電話 72-3301）まで。

※ICT ツール:

株式会社ワイズマンが提供する地域医療・介護連携サービス。名称は「メルタス・コミュニティ」。患者・利用者の基本情報のほか、支援内容、バイタル情報、関連文書（写真・動画含む）を関係者間で共有する仕組み。利用する八戸市内の医療介護事業所のつながりが通称 connect8（コネクトエイト）。